

平成29年度 小野市当初予算（案）

《 夢 》

市役所庁舎移転・新築
新産業団地（小野長寿の郷）

《 子ども 》

4・5歳児教育・保育無料化
高3まで医療費完全無料化

《 高齢者 》

エイジ・ルネサンス
シニアの生きがい・活躍

“NEXT おの” 創生

2nd Trial

～次世代へつなぐ新たなまちづくり～

①安全・安心に暮らせるまちの創造

(新規) 消防署北拠点の整備 7,100 万円

旭丘中学校西側に第3の救急拠点となる消防署北拠点を整備。超高齢社会の到来に備え、市内全域への救急現場到着時間10分以内を実現。総事業費は1億3,600万円。平成30年度内の開署をめざす。

(拡充) コミュニティバスの運行 1億370万円

現行の7台・10ルートに加え、新たに1台増車し、小野工業団地への通勤ルートを試験運行。榎山駅と匠台の工業団地内をバスでつなぐことにより、公共交通を活用した通勤も促進する。

(継続) LED防犯灯の新設 1,350万円

防犯灯倍増5000作戦の4年目。当初予定よりも1年前倒しで目標達成をめざす。幹線道路や町境など自治会とも協議し、整備。

(継続) 南環状線カーブの改良 7,800万円

市道101、103号線の直角カーブを改善することで、交通の安全を確保。また、残存地を利用したポケットパークを設置し、市の玄関口としてふさわしい景観を創出する。

(継続) 片山高田線の道路改良 1億5,200万円

多くの学生に通学路として利用される市道107号線の道路改良事業。平成29年度は国庫補助を利用して、用地購入等を実施する。



(継続) 浄谷黒川丘陵地多目的運動広場の整備

3億2,300万円

総事業費11億円、平成31年度完成予定。災害時の自衛隊キャンプ地機能を併有する。平成29年度はフィールド人工芝等の整備を実施する。

(新規) 夜光反射材着用の啓発 200万円

平成29年6月の条例施行をめざす啓発キャンペーン等。夜間歩行の安全を確保し、交通事故の減少をめざす。

(継続) 安全安心パトロールの展開 5,700万円

専用車両8台、専任のパトロール隊員15名により市内の巡回を実施。平成29年度はパトロール車2台を更新。

②子どもが輝く子育て・教育環境の充実

（継続） 高校生までの医療費完全無料化 2億6,350万円

従来からの中学校3年生までの医療費の完全無料化2億3,350万円と、平成28年度から拡大した高校生の医療費完全無料化3,000万円。どちらも、所得制限はなし。子育て世帯の経済的負担を軽減する。

（継続） 4・5歳児幼児教育保育料無料化 2億5,000万円

4・5歳児の幼児教育・保育料無料化（所得制限なし、給食費相当分を除く）を引き続き実施。0～3歳児の軽減分を合わせると、保護者の負担は3億2,000万円減少する。

（継続・H28前倒し） 給食センターの整備 6,000万円

（9億円）

平成28年度より本体工事に着手。工事費は財源の有利な平成28年度補正予算に前倒し。総事業費は12億円。



（新規） マイナポータルシステムの構築 420万円

マイナンバーを利用した、児童手当や保育・母子保健に係る子育てワンストップサービス制度を構築。市役所へ出向かずに各種申請が可能となる。

（新規） 新生児聴覚検査の助成 250万円

聴覚障がい早期発見・早期療育を推進するため、新生児聴覚検査費の助成を行う。

（新規） 小学校パソコン教室の整備 6,000万円

小学校8校のパソコン教室の機器を更新。プログラミング教育必修化にむけて、ICT環境の充実を図る。

（継続） 小中一貫教育の推進 1,060万円

小中一貫教育推進の3年目。校務支援システムや到達度テストで、義務教育9ヶ年の情報を一元管理する。小中学校間でデータを共有することにより、児童・生徒の円滑で適切な指導を行う。

（新規） 産婦健康診査費の助成 250万円

産後うつや新生児虐待の予防を図るため、産婦の健康診査費を助成。支援が必要な母子に対し、早期にサポートする。

③ アクティブシニアが輝く生きがいと活躍の場の創出



(新規・H28 前倒し) 鍬溪温泉の再生 (1億2,000万円)

古来の地域資源として、来住地区住民により大切に守られてきた鍬溪温泉を、地元の人々の熱意と公共の支援により再生。小野市の新たな観光施設であると同時に、地域住民憩いの場・生きがい就労の拠点としても再生させる。

(新規) 堀井城跡活用のための調査 200万円

歴史的価値のある堀井城跡を、市民の憩いの場として整備するための調査設計費。遺構を保存しつつ、最大限に市民が活用できる場所として整備する方針。

(継続) 地域活動シニアサポートモデルの推進 750万円

シニア世代の持つ知識・経験・技能を多様な分野で発揮する、シニアグループの地域貢献活動に係る事業立上げ費用と運営に係る費用（3年目まで）を補助。3年目となる平成29年度は、7団体（新規2団体）に交付予定。

(継続) 地域のきずなづくりへの支援 1,000万円

自治会の諸活動に支援を行い、地域力の強化・高齢者の生きがいづくりにつなげる。社会奉仕・健康増進などの活動に対し、年間最大20万円を助成。

(継続) シニア世代社会参加の推進 190万円

シニア世代のための社会参加促進セミナー開催やシニア活躍についてのニーズ調査を実施。講演会やグループワークを通じた仲間づくりの機会やシニア雇用の場を創出することで、社会参加へのきっかけを提供する。

(継続) シルバー人材センター運営費の助成 1,180万円

定年退職後のシニア世代の能力活用・生きがいづくりを促進し、地域社会の活性化を図るため、シルバー人材センターの運営費を助成。

(継続) 地域づくり協議会への助成 2,100万円

市内6地区の地域づくり協議会の活動を支援。それぞれの協議会が独自に企画実施する地域活性化活動に対し補助金を交付する。

(継続) エイジ・ルネサンス・パーティの開催 450万円

65歳を迎える市民を対象に、第二の成人式を開催。シニア世代に、「生涯現役」をめざすきっかけづくりを行う。平成29年度で18回目。

④次代を見据えたまちづくりの推進

（継続）新産業団地整備の推進 1億2,000万円

県との共同で、市場地区に新産業団地を整備。平成29年度は、エリア内の幹線道路「新都市南北線」の設計及び一部工事に着手する。

（継続）新庁舎の整備 9億3,700万円

夢と誇りのランドマーク「新庁舎」は、平成31年度の完成をめざす。平成29年度は実施設計を完了し、建築工事の契約締結を行う。

（新規）議会調査研究経費の新設 300万円

従来、議員1人当たり年間24万円を交付していた「政務活動費」を廃止。調査研究に資するための活動を「議会活動」（公務）として位置づけ、議員の活動方針に基づいた旅費・研修参加負担金等を、財務規則に従って適正に支出する。

（新規）大池総合公園の整備 3,000万円

小野まつりをはじめ、多彩なイベントが開催される大池総合公園にトイレを新設。公園施設の充実を図るとともに、市民広場に色と香りを楽しむローズアーチなどを整備。

（拡充）第40回小野まつりの助成 5,100万円

平成29年8月19日（土）・20日（日）に開催予定。40周年記念としてスマートフォンサイトの新設、魅力あるおの恋おどりの更なる充実等、昨年度より300万円を追加。

（継続）ふるさと小野応援プログラムの推進 8,500万円

ふるさと小野応援プログラム寄附者に対し、小野の魅力を発信するためにふるさと産品を届ける。新たな特産品を開拓し、地域の産業振興につなげる。

（継続）観光まちづくり戦略の推進 500万円

平成31年度観光交流人口240万人を目標に、観光資源の発掘と観光ルート of 構築を行う。平成29年度は市民意識等の調査結果をもとに、効果的な観光媒体を開拓する。

（継続）伝統的工芸品の後継者育成助成 360万円

そろばんや金物等、高度な技術の継承が必要な伝統的工芸品の後継者育成に対し、補助金を交付。後継者1人当たり年間90万円、最長3年間の助成を行う。

（新規）パイプハウス設置の助成 500万円

年間を通じて農作物を安定供給するためパイプハウスを設置する農業従事者に、上限50万円の助成を行う。

